

第 17 回 燃料デブリ取り出し専門委員会 議事要旨

日 時：平成 29 年 3 月 24 日（金） 16：00～18：00

場 所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 第 2 大会議室

1. 第 16 回燃料デブリ取り出し専門委員会 議事要旨（案）確認

NDF より、平成 29 年 2 月 10 日に開催された第 16 回燃料デブリ取り出し専門委員会の議事内容を記載した議事要旨について説明した。

2. 燃料デブリ取り出し時における構造健全性の見通し

NDF 及び IRID より、燃料デブリ取り出し時における構造健全性の見通しについて説明した。

専門委員からの主な意見は以下の通り。

- 格納容器等の構造健全性の評価は、健全性を担保する目的（環境への放射性物質の放出防止・抑制等）を明確にし、実施することが重要である。
- 構造健全性確保のための対策については、現場の状況（線量等）を加味し、得られるメリットと対策のための作業員の被ばく等のデメリットのバランスを検討した上で、具体的な方法を検討するべきである。

3. 予備エンジニアリングについて

東京電力より、燃料デブリ取り出し作業の現場適用のためのエンジニアリングについて説明した。

専門委員からの主な意見は以下の通り。

- 中長期ロードマップで抽出された課題に対し、課題解決の研究開発等を通して個別の成果が出てきている状況の中、それらの成果を組み合わせることで実際の現場で適用できるかどうかを、いわゆる Preliminary Engineering として配置等含めて全体的に考えるべき段階である。
- 燃料デブリ取り出しを実施するために必要な技術をまとめるにあたり、実際に使用しているロボット等の機能評価のようなことも実施した上で、検討するべきである。
- 予備エンジニアリングは、燃料デブリ取り出しという目的からニーズへの分解を行い、それに必要な作業を計画していく形が望ましい。

以 上